

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構による核燃料輸送物設計承認申請（JMS-87Y-18.5T型及びJRC-80Y-20T型）に係るヒアリング（4）

2. 日 時：令和4年8月9日（火）10時00分～11時30分

3. 場 所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※はTV会議システムによる出席）：

原子力規制庁 原子力規制部 核燃料施設審査部門

石井企画調査官、日坂管理官補佐、甫出主任安全審査官、山後安全審査官、真下安全審査専門職

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

大洗研究所 環境技術開発センター 材料試験炉部 原子炉課

課長 他4名※

原子力科学研究所 研究炉加速器技術部 研究炉技術課

課長 他3名※

核不拡散・核セキュリティ総合支援センター CTBT・輸送支援室

技術主幹 他1名※

5. 要 旨：

（1）令和4年7月13日付けで国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「事業者」という）から申請のあったJMS-87Y-18.5T型及びJRC-80Y-20T型の核燃料輸送物設計承認申請について、原子力規制庁（以下「規制庁」という。）から8月2日のヒアリングにおいて、主に以下の点に係る説明を求めていた。

・最大内圧及び熱膨張の評価について、運搬中に予想される周囲の温度が最低温度から最高温度に変化した際の検討が実施されていないこと。

・強化浸漬試験の検討を実施していないこと。

・スペーサの経年変化による影響評価が実施されていないこと。

（2）事業者から前記事項については、輸送する燃料仕様等から検討が必要であったが実施していなかった旨の説明があった。

規制庁は、これらのうち、本日、強化浸漬試験の検討結果について、説明を受けた。

事業者は、残りの不足している検討事項について、速やかに実施

し、規制庁に必要な説明を行うとともに、補正を行いたい旨の発言があった。

6. その他：

【事業者からの配布資料】

資料1 ヒアリング等を踏まえた JMS-87Y-18.5T 型核燃料輸送物設計承認申請書の見直しについて

資料2 ヒアリング等を踏まえた JRC-80Y-20T 型核燃料輸送物設計承認申請の見直しについて

以上